

六条裸麦有望系統「四国裸糯 139 号」について

1 来歴

- (1) 育成地 農研機構 西日本農業研究センター
- (2) 交配組合わせ 「四裸糯 113 号」 / 「四 R 系 2835」

2 特徴

- (1) 精麦用として利用が期待されるもち性の六条裸大麦である。
- (2) 「イチバンボシ」に比べ出穂期、成熟期は同程度である。
- (3) 「イチバンボシ」に比べ、稈長は同程度、穂長は短く、穂数は少ない。
- (4) 「イチバンボシ」に比べ、千粒重は同程度で、収量は低い。
- (5) 穂発芽耐性がある（極強）。
- (6) 水溶性食物繊維「βグルカン」を多く含む。
- (7) オオムギ縞萎縮病に抵抗性をもつ。

表 奨励品種決定調査における成績

品種名	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	整粒重 (kg/a)	千粒重 (g)
四国裸糯139号	3月21日	5月15日	85	4.4	419	53.5	34.8
イチバンボシ	3月21日	5月15日	84	4.8	479	65.2	34.6

注1. 令和元年度成績

注2. 基肥に窒素0.8kg/a、茎立ち期追肥に窒素0.2kg/aを施用

注3. 整粒重、千粒重は2.0mm篩選による

3 令和3年播(令和4年産)の取り組み

奨励品種決定現地調査（2年目）を県内4カ所で実施し、現地適応性を検討中。

4 その他

近年、健康志向の高まり等から、高βグルカンもち性大麦の需要が多く、新たなもち性大麦品種の導入が求められている。しかし、埼玉県の奨励品種にもち性大麦はない。そこで、もち性大麦の導入にあたり、「四国裸糯 135 号」、「四国裸糯 139 号」について現地適応性を検討している。